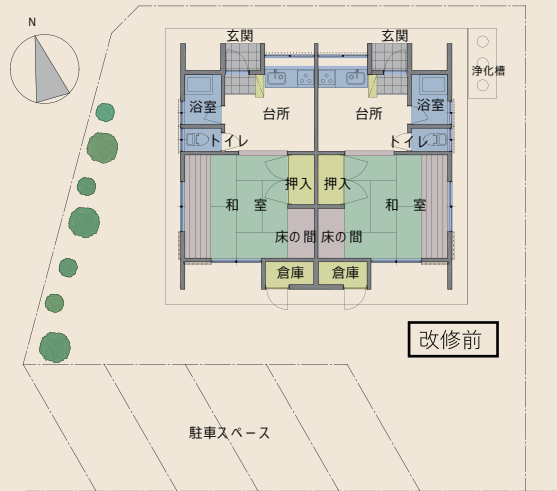


リフォーム前

リフォーム後

改修前は1住戸の面積が約33.4㎡の二戸一形式の単身者用市営教員住宅で台所と和室と水廻りで構成された1DKのスタイル。

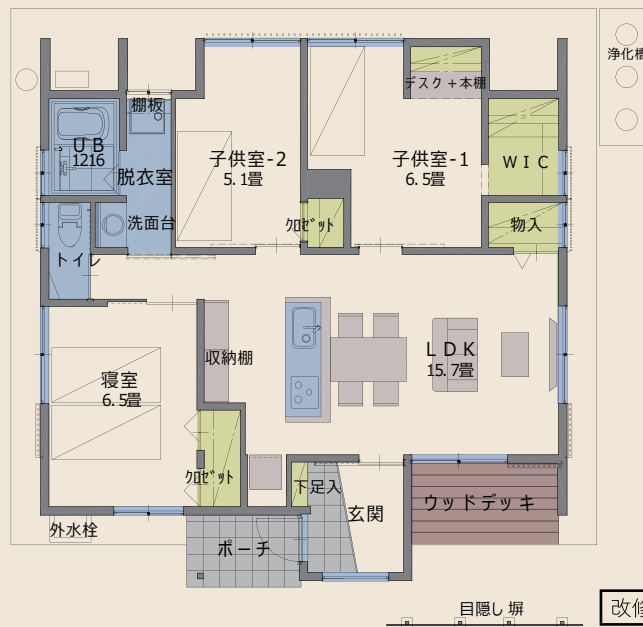
駐車場は南側にあるが、玄関が北側にあったため、特に雨の日は出入りに不便なアクセスであった。屋根は切妻のシンプルな形状ではあったが、小屋裏換気用のハト小屋から雨漏りが見受けられたため、これを撤去する計画とした。教職員用住宅として使用されなくなってから10数年経過していたが、構造材の状況は非常によくシロアリの被害も見受けられなかったため、構造材はそのまま利用する計画とした。



ニコイチの界壁を取り払い、提案したのは4人家族を想定した対面キッチンのあるコンパクトな3LDK。床面積を増やすために10㎡以下で増築を行い小屋裏補強梁、筋交い、制震ダンパー等による構造補強を行い耐震性を高めている。また、床・壁・天井に高性能断熱材の充填を行い一年を通して快適に過ごせるようにした。

増築して南側に移動した玄関部分にはポーチ、リビング前にはウッドデッキを設置し外部環境も充実させている。既存の浴槽を撤去してシステムバスを設置し、屋外にあった洗濯機置き場も脱衣室内に設置し、新たに造作洗面台も設置し水廻りを一カ所にまとめて家事動線を考慮した。

既存のコロナル屋根は汚れや変色、ひび割れも多かったので撤去し、野地板もすべて張り替えて瓦へ葺き替え、既存壁の再塗装を行い建物の耐久性を向上させた。室内の床はパールのフローリングで仕上げ、天井には羽目板を張ることでナチュラルで飽きのこないシンプルな空間とし、子供室はアクセントクロスで変化を付けた。外観については増築した玄関・ポーチ部分を切妻屋根とすることで建物の存在感を強調し、アクセントとなる杉の羽目板が映えるように黒い外壁で対比させた。



■改修前(外観)



■改修前(内観)



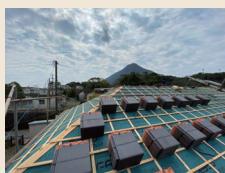
■手刻み構造材



■解体状況(外観)



■解体状況(内観)



■改修状況(屋根)

応募者	設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
有限会社 幸福住建	幸福住建 一級建築士事務所 福永知哉	有限会社 幸福住建	38年	木造	一戸建て	令和2年4月	90日間	650万	指宿市	増築・内外リフォーム